

八王子 暮らしのレポート

(令和5年)
2023
7月

八王子市消費生活啓発推進委員会レポート

特集

2023環境フェスティバルに出展しました

6月4日（日）東京たま未来メッセにて、2023八王子環境フェスティバルが開催されました。新しい会場に変更したにもかかわらず、大勢の方が来場し、大変にぎわいました。八王子市消費生活啓発推進委員会のブースでは、「地産地消のすすめ」を提案し、市民の声を聴きました。



アンケート記入の様子

今回は、恒例にしているアンケート調査を、スマートフォン（以下スマホ）でQRコードを読み取って、WEBでアンケートに答えてもらう方式と、従来の紙に印刷したものの二つの方法で実施しました。若い方たちは、抵抗なくスマホを手に取り記入をスタートしていました。そういう中で、スマホを熱心に手に取り操作している年配の方が、年代欄で「80歳以上」を選ばれたときは心の中で拍手でした。

私たちの生活の中でスマホは便利な必需品の一つとなってきています。

単に「便利な携帯電話」だけではなく、現代生活に必要な機能は使いこなせるようになりたいものということで、いまよく利用されているQRコードの読み取りに挑戦していただきました。

実際にスタートしてみると、一部係に確認されている方もいましたが、多くの方に、スムーズにアンケートに答えていただき、当日は予測を上回る結果となりました。

最終的に投票アンケートの内訳は、WEBアンケートは122件、紙に印刷したアンケートは51件でした。ご協力ありがとうございました。

集計結果の概要は、3ページ目の中で報告しています。

八王子環境フェスティバルアンケート 令和5年6月4日
八王子市消費生活啓発推進委員会は、今年度地産地消のすすめをテーマに活動しています。こうした活動が今後、家庭で行えるSDGsは環境対策などの気づきにつながればと考えています。それでは以下のアンケートにお答えください。
*住まい、性別、年齢と設問1～5、7～9は該当する□欄を印してお答えください。

住	□八王子市内	性	□男性	年	□20歳未満	□20歳代	□30歳代	□40歳代
ま	□八王子市外		□女性		□50歳代	□60歳代	□70歳代	□80歳以上
い	□答えたくない	別	□答えたくない	代	□答えたくない			

<設問> ※この設問では「地産地消は自分の住まいにより近いところで生産した物を手に入れ、消費する」という考え方で設定しています。

1. あなたは地産地消について関心がありますか？
□とても関心がある □ある程度関心がある □あまり関心がない □よくわからない

※以下設問2から6までは「地産地消」に関心がある方がご記入ください。

2. 地産地消について、どの程度実践していますか？
□ほぼすべて □ある程度 □あまりしていない □まったくしていない

3. 日頃から地産地消を意識しているものは？(複数可)
□野菜 □米 □果物 □菓子 □肉 □魚 □花 □豆腐類 □衣類(国産など)
□電力(太陽光など) □その他()

4. 地産地消を実践する上で、どんなところで品物を入手していますか？
□農家の直売所 □道の駅 □スーパーの地元産のコーナー □その他()
□特に決っていない

5. 地産地消を実践する上で地元で生産した商品であることを何で確認していますか？
□直売所だから □道の駅だから □値札の表示で □商品表示欄を見て
□その他()

6. あなたの地産地消に関する考え方や気が付いたことを教えてください。

7. 八王子市消費生活啓発推進委員会の活動を知っていましたか？
□良く知っている □名前は知っている □知らなかった

8. 八王子市消費生活センターを知っていますか？
□良く知っている □名前は知っている □知らなかった

9. 環境フェスティバルに何回来たことがありますか？
□毎年(ほぼ毎年) □ときどき □初めて

ご協力ありがとうございました。

八王子市消費生活啓発推進委員会

事務欄



私たち市民ができるSDGsが何かを考えた時に、10個以上あり、暮らしを見直すことでできることが数多くありました。提案チラシは消費生活センターに常備して差し上げています。

今回の環境フェスティバルでは、その中から、地産地消に絞って紹介しました。

八王子市内には、住まいの隣が農地や工房、工場だったり、直売をしているところも多くあります。身近に地産地消に取り組みしやすい条件に恵まれた地域性があるといえます。

本提案ではさらに視野を広げ、地産地消（右のイラスト表参照）は、
 ★陸や海の豊かさにつながること
 ★エネルギー問題や環境問題にも寄与すること
 ということなどを、今後皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。



■「輪投げ」と「たき坊」が大活躍でした！



小さなお友達も負けていません、よいしょ！

本会場ではたき坊が出演し、来客の皆さんと一緒に写真におさまったり、自ら輪投げにも挑戦して人気者の活躍を見せてくれました。

輪投げで活躍した皆さんには、紙製のクリアファイルを紹介しました。

また多摩の間伐材で作った鉛筆は、アンケートにご協力いただいた方などに差し上げました。

大人も子どもも楽しめるように「クマさんの輪投げ・地産地消のすすめ版」を用意しました。

小学2年生を分かれ目に立ち位置を変えたのですが、5個とも入る方は少なく、かなり難しいようでした。何度も挑戦する子どもたちもいて、大好評でした。大人たちも挑戦していました。

お子さんに差し上げた風船は、環境に配慮したもので、持ち手は綿糸で編んだ輪でできています。用意した100個があっという間になくなりました。



当日大人気だった、たき坊

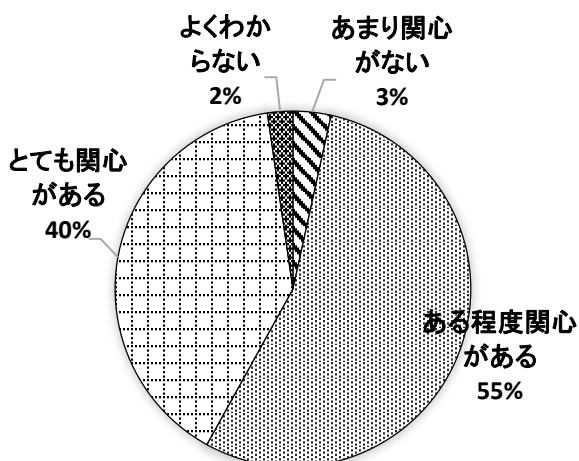
■アンケートの集計概要報告

実施したアンケート結果を基に、八王子市民が「地産地消」にどのように関心を持ち、実行しているかについて見ることにします。

1. あなたは地産地消について関心はありますか？（下図）

「とても関心がある」と「ある程度関心がある」とで95%を占めています。市民の皆さんが関心を持っていることがうかがえます。しかし、どの程度実践しているかという設問では、ある程度実践が48%、ほぼすべて実践が4%で、積極的な答えは52%でした。やはり関心はあるが、実践となると難しいものがあるというのが現実のようです。

現在、国内はおろか、世界中から様々な商品が取り入れられています。地産地消は、生産状況等が確認でき、安心感が得られることや長時間の輸送の段階で受ける食品の損傷等による食品ロスを削減できるなどのメリットがあります。



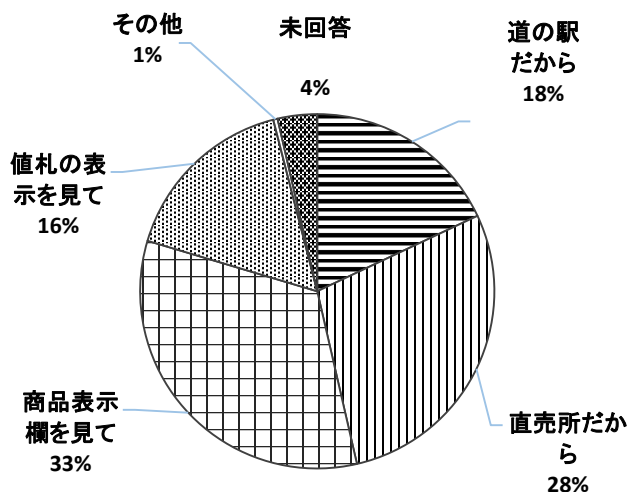
2. 地産地消をする上で、地元で生産した商品であることを何で確認していますか？（右上図）

これを見ると多い順に、①商品表示を見て②直売所だから③道の駅だから④値札の表示を見ての順となっています。

「このお店で扱っているから、地元産に違いない」と思われている方もいるかもしれませんが、お店だけで判断せず、表示なども確認することが望ましいと思われます。

以下 自由意見より抜粋

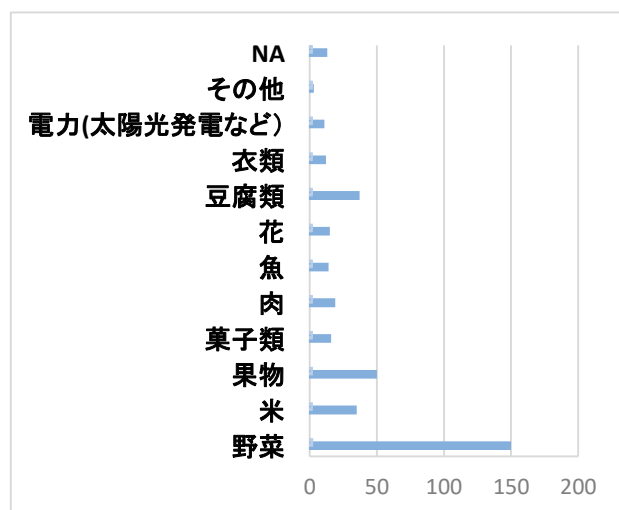
- ・ 運送の手間がなく、環境にいいですね。
- ・ 地域を活性化するためにも必要と思います。
- ・ ひとりひとりが地元のことに関心～知ることが大事



3. 日頃から地産地消を意識しているものは？（下図）

下の図は、どのようなものを中心に地産地消に取り組んでいるかが見られる項目です。この中では①野菜②果物③豆腐類が挙げられています。鮮度重視の商品が中心となっています。こうしたものを選び、利用するには表示を見ることに加え、状態を見る、嗅ぐなどによって、鮮度情報を補完することも重要です。

また旬の鮮度の良いものを上手に冷凍して、食品ロスを防いだり、消費期限をコントロールすることも消費者の知恵として重要と思われます。



■ 2023八王子

環境フェスティバルを終えて

今回は、新設された「東京たま未来メッセ」を会場にしての環境フェスティバルでした。

いろいろなところで、それぞれの設営となり、迎える方もそうですが迎えられるお客様も何となく雰囲気の違いを体感されたのではないのでしょうか。

私たちは、コロナ対策の厳しい期間を通して、「個人で取り組むSDGs」を進める中から、もう一つ地元らしい提案ができないかと考えて、今回は「地産地消」をテーマに提案し、市民の感覚を調査しました。



久しぶりの体力勝負イベントでした

このイベントでわかったこと：

- ・八王子は地産地消が根づく素地が十分にあること
- ・各年代がスマホパワーを身につけ始めていること

今後はこうしたことを念頭に置いて活動をすすめていきたいと思えます。市民の皆さん環境フェスティバルへのご参加ありがとうございました。

イベント予告

- 11/24 (金) 東京都消費者月間事業八王子会場講演会を開催します
会場：クリエイトホール11階視聴覚室 14時～16時
テーマ：(仮)これが出発点！フードマイレージに見る日本の食の課題
講師：藤田 まみ氏
- 令和6年 2/3 (土) 第57回八王子市消費生活フェスティバルを開催します
クリエイトホール5階、9階調理室 11時～16時
テーマ：未来へつなごう！くらしの知恵



<編集後記>

- ・時間がまだあるまだあると思いながら、一気に通過してしまった環境フェスティバルでした。終わってみればレポートの素材をもっともっと仕込んでおきたかったなあと感じています (A)
- ・令和5年度、委員会に新しいメンバーを加えた最初のイベントである環境フェスティバルで市民と対面できた手ごたえを紙面に盛り込みました。(k)

編集発行：八王子市消費生活センター・同消費生活啓発推進委員会

〒192-0082 八王子市東町5-6 クリエイトホール 地下1階

☎042-631-5456

FAX：042-643-0025

*くらしのレポートにつきご質問・ご意見がありましたら、どうぞお寄せください。



八王子市消費生活
啓発推進委員会HP